

久米島町



議会だより



一般質問	2
議決の結果	12
視察研修	12

一 般 質 問

12月定例会での一般質問は、12月16日に12名が登壇しました。
(再質問を含み要約)

鳥島射爆撃場の賃貸
借契約予約について
国の出方を見て、顧問弁護士や
関係者の皆様に相談して対応



上 里 総 功 議 員

上里議員 町長は鳥島射爆撃場の新たな賃貸借契約予約について「現在の契約条件では応じない方針です」と述べられている。この賃貸借契約予約は日米安保条約や地位協定と関係する大きな問題であり、契約予約に反対すれば国は最後には特措法を適用する可能性がある。その対応について伺いたい。

平良町長 沖縄防衛局は、町が予約に応じない場合

は、年度内にも特措法に基づき強制収容に着手すると思われる。結果として、予約しなくても強制収容される

可能性が高いと考えている。今後国の新たな動きも出てくる可能性もあるの

で、国の出方を見て、顧問弁護士や関係者の皆様に相談して対応したい。

上里議員 主権国家として体をなしていない国と、町長は交渉していかなければならないのですが、特に関係者である久米島漁協との協議は行われているのか、それを聞きたい。

町道整備について
久米島町維持補修工事
として発注

上里議員 町道儀間5号線

上里議員 橋の上と陥没し

と儀間32号線につながる儀間川の橋は舗装がされていないため、雨が降るたびに水がたまり、くぼみができ通行に支障をきたしている。どのような原因で橋の上だけ舗装されていないのか。また、橋からアーラ浜側に約80m行ったところに舗装が陥没し、補修工事は完了しているが、舗装がされていない。いつになったら整備をするのか。

平良町長 質問にございます箇所につきましては、去る11月26日に久米島町維持補修工事として発注した。



らっているが、今後どのように整備するのか。

道路認定について

道路台帳と併せて整備する

崎村議員 アーラビーチ線、アーラ林道線、農道儀間45号線、山玉城線の4路線は未認定道路により補助事業が導入できないため、道路認定をする必要があると思うが、町長の考えを伺いたい。

平良町長 事業の採択条件をクリアする必要がある。道路台帳と併せて整備する。

崎村議員 4路線は30年以上も道路認定をしないと補助事業が導入できないことを熟知しながら、なぜそのような状態なのか。どんな道路整備においても最優先にやるべき作業は道路認定に必要な予算要求だと思うが、今までやったことがあ



崎村正明議員

盛本建設課長 過去の経緯については調べて見なければ分からないが、きちんと台帳をつくって管理をしていく必要がある。補助事業であればその事業費で道路台帳の作成ができる。この道路は単費となるが、1千万円近くかかるため町の財政を含めて調整しながら実施したいと思う。

崎村議員 未整備の道路で転落防止柵の不備で転落事故等が発した場合に責任所在はどこにあるか。

仲村渠総務課長 町の管理に瑕疵（かし）があり事故との因果関係が証明できた場合、管理責任は町にある。

崎村議員 観光客や地域住民の安全を確保する為にも今後は非、農道整備ができるように要望したい。

尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する意見書

去る9月7日午前、尖閣諸島の久場島沖の日本国領海内において、違法操業中の中国漁船が、退去命令を出した第11管区海上保安本部の巡視船に接触した上、逃走を図り、さらに停船命令にも応じずに接触を繰り返す事件が発生したが、9月24日、那覇地方検察庁は、公務執行妨害罪の容疑で逮捕・送検していた同漁船の船長を処分保留で釈放した。

尖閣諸島は、石垣市に属する我が国固有の領土及び本県の行政区域であることは疑問の余地がないところである。今後、中国が尖閣諸島及び周辺海域の領有権を強硬に主張し、中国漁船が尖閣諸島周辺海域で操業することが予想されるが、そうなった場合、本県及び我が国漁船と中国漁船との間で操業をめぐるトラブルが発生したり、衝突事件が再発するなど、安全な航行が阻害されることが懸念され、県民は不安を感じている。

よって、本町議会は、県民及び国民の生命、安全及び領土・領海を守る立場から、今回の政府の措置に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

記

- 1、尖閣諸島及び周辺海域が我が国固有の領土及び領海であるという毅然たる態度を堅持し、中国政府を初め諸外国に示すこと。
- 2、尖閣諸島周辺海域において、本県及び我が国の漁業者が自由かつ安全に操業・航行できるよう適切な措置を講じること。
- 3、中国政府に対し、今回の事件に関して厳重に抗議するとともに、日中両政府は、冷静な外交を通し再発防止策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成22年11月29日

沖縄県久米島町町議会

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣、国土交通大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、農林水産大臣

綱引きの復活について

担当部署を決めて取り組んでいく

仲村議員 平成18年6月議会で綱引きの復活について質問したが、町長は「市民の協力体制及び予算処置ができれば、復活の可能性はある。関係機関で調整したい。できればやりたい」と答弁しているが、未だに実現していない。これまで綱引きの復活についてどのような調整がなされ、できない理由は何か。復活する考えはあるのか伺いたい。

平良町長 これまでは積極的な取り組みをしていないが、久米島町第一次総合計画の後期基本計画で「大綱引きの復活・実施に向けて、保存会を早期に立ち上



仲村昌慧議員

げ取り組めるよう関係機関との検討を進める」との計画がある。担当部署を決めて取り組んでいく。



仲村議員 これまで、できなかったのはやる気がなかったのではないか。担当部署をたらい回しにして責任逃れをしているように思えるが、どこを担当を。

仲村渠総務課長 しっかりと主幹課を決めて合併10周年事業の中で実施することができたらと考えている。

職員採用について

成績主義の原則に基づき、裁量権を適切に行使していきたい

仲村議員 今年の職員採用試験は、試験の結果の情報開示によって政策配点されていることが明るみに出た。政策配点については、地方公務員法上問題にはならないか。それから今後の職員採用の方針について伺いたい。

平良町長 政策配点は、試験成績で同点、もしくは僅差の場合は成績主義を原則としつつ、任命権者の裁量の範囲内で政策加点を行うものであり、地方公務員法上問題ではないと考えている。

今後の採用方針については、これまでどおり成績主義の原則に基づき実施するとともに、採用に付随する諸問題については裁量権を適切に行使して職員を採用していきたい。

仲村議員 政策配点について問題はないと考えていると答弁しているが、問題な

いか確認すべきではないか。

仲村渠総務課長 問題があるかないかについては、判例集を調べて判断している。もし必要があれば県の人事委員会に照会してみたいと考えている。



成壮年の組織育成をしては

側面から協力していきたい



幸地良雄 議員

る。成人会に限らず、婦人会、青年会も単位組織を結成できない字が多い状況にある。社会情勢の変化など様々な要因はあ

幸地議員 平成前期から両村合併前後にかけて、成人会や壮年期の組織活動が大変盛んで久米島全体の中年層に活気があった。当時は

るが、各字単位の活性化を図れるよう、それぞれの取り組みが必要だと思う。

ソフトボール等が盛んで毎年各字対抗や職場対抗の試合があり、各職場や各字の組織活動が活発で、地域間のコミュニケーションが図られており島全体に融和があった。現在は各字の単位組織も衰退し寂しく感じる。現役の中年層の活動があつてこそ町の活性化は図られると思う

幸地議員 本来ならば自発的に組織を復活させていくのが筋ですが、担当職員を決めて組織の育成をしてはと思うが。

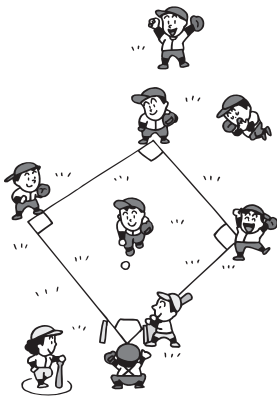
が、組織の掘り起こしを推進してはどうか。教育長の見解を伺いたい。

比嘉教育長 字の活性化について、私たちができる事があれば、側面から協力していきたい。

最近の各組織の衰退は、ご指摘の通りであ

最近の各組織の衰退は、ご指摘の通りであ

最近の各組織の衰退は、ご指摘の通りであ



久米島空港区域内での駐停車について

久米島交番と連携して改善に取り組んでいきたい



宮里洋一 議員

駐車については管理上問題があるので、久米島交番と連携して改善に取り組んでまいりたい。なお、空港の管

宮里議員 空港区域内での駐停車について。久米島空港の管理はどうなっているか。

理は、空港管理事務所となっている。

4車線の部分について駐停車禁止になっているが、駐停車している車があり、駐車場に入る通りでは逆駐車が多い。このことについて町はどう考えるか伺いたい。

平良町長 空港

ターミナルビル

前の道路は駐車

禁止となっている。

また、駐車

場内の道路の逆



海洋深層水の利活用の拡大について

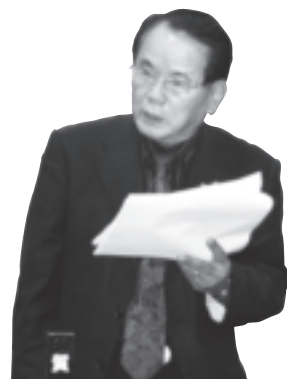
実現に向けて強力に取り組んでいきたい

が限界に達しているようである。温度差発電を誘致することによって海洋エネルギーを利用した複合的多くの産業が生み出されると聞いている。その誘



宮田議員 先般、海洋の持つ温度差を利用して海洋温度差発電システムを研修する目的で、佐賀大学海洋エネルギー研究センターを視察した。海洋エネルギーが無限の雄大に感動を受けた。幸いに当久米島には、日本一を誇る海洋深層水研究所があり、それを利用した産業が数社で企業として生業をしているが、取水量

大臣が久米島視察の際に要請し、民主党本部や関係各省に要請を行っている。また、平成21年11月の日米首脳会議による沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力に関し久米島とハワイによる海洋温度差発電の可能性についてワークショップを開催するなど取り組みを行っているところである。今後ともその実現のため強力に取り組んで参りたい。



宮田 勇 議員

致と取水の拡大に向けて、町長の見解は。平良町長 温度差発電の誘致については、昨年3月に沖縄担当

TPP 交渉への参加反対に関する意見書

我が国政府は、去る11月9日、APEC 首脳会議に向けて EPA 基本方針（包括的経済連携に関する基本方針）を閣議決定し、そのなかで米国、豪州など9カ国が行う TPP（環太平洋パートナーシップ協定）について「関係国との協議を開始する」方針を決定した。TPP は、関税撤廃の例外を認めない完全な貿易自由化を目指した交渉である。

我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではない。しかし、この国が貿易立国として発展してきた結果、わが国は世界で最も開かれた農産物純輸入国となり、食料自給率は著しく低下した。

例外を認めない TPP を締結すれば、日本農業並びに離島県として地域の雇用、定住を通じて国益にも貢献してきた本県農業は崩壊していく。関連産業は廃業し、地域雇用が失われる。これは、国民の圧倒的多数が望む食料自給率の向上は到底不可能である。

EPA は、交渉参加国の相互発展と繁栄を本来目的とすべきであり、わが国が TPP 交渉に参加しても、この目的は達成できない。

したがって、わが国の食料安全保障と両立できない TPP 交渉への参加は絶対に行わないことを強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月16日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【提出先】

内閣総理大臣 外務大臣 財務大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 内閣官房長官
沖縄及び北方対策担当大臣

鳥島射爆撃場の早期返還と 海洋エネルギーセンター等の誘致について

誘致するのに障害はない



宇江原総清 議員

を運用するにあ

たつて鳥島射爆

撃場は大きな障

害になると考え

ていると申し上げ

た。鳥島は、

これまで米軍に

宇江原議員 鳥島射爆撃

場の早期返還を実現しな

い限り、本町に海洋エネル

ギー研究センター及びそ

の実用化に向けた施設の

誘致することは困難だ

と思う。町長は鳥島射爆

撃場早期返還町民総決起

大会を早急に開催する意

志はないか。

平良町長 鳥島射爆撃場の

問題について、これまで返

還要請をしており、新しい

要請はしない方針である。

国の出方をみて対応方針を

決定したい。

宇江原議員 海洋温度差発

電を含む海洋自然エネル

ギーを活用した同センター

は、これらの実用化に向け

た施設の誘致、また、これ

よる1,500発の劣化ウ

ラン弾の投棄に加えて、現

在嘉手納基地に貯蔵されて

いると言われる40万発の一

部でも更に投棄されると久

米島の危機だと考えてい

る。本件の誘致に関し、鳥

島射爆撃場は海洋エネル

ギーセンター等の誘致に関

し、障害にならないか。

平良町長 海洋エネルギー

研究センターの誘致と鳥島

射爆撃場の返還、誘致は非

常に困難という質問でした

が、これについて多少は影

響が無いとは言えないが、

誘致するのに障害になると

は考えていない。この2件

については分けて考える必

要があると思う。

人材育成について

現行の補助で妥当

宇江原議員 学校教育を初

めとする町のこれまでの取

り組み、また、町育英資金

の運用はどうかになっているの

か伺いたい。

比嘉教育長 本町では、個

性豊かで創造性、国際性に

富む活力ある人材の育成を

めざし、学力向上に取り組

むと共に、なかさと交流や

海外ホームステイ事業で県

外や外国など異なる地域の

文化を学ぶ取り組みをおこ

なっている。育英会は現在

29人の学生に貸与してい

る。

宇江原議員 育英会の現状

で29人は多いとみるのか、

少ないとみるのか。また、

困窮世帯が増えている中、

貸出し金額を増額し、さら

に、英検、数学検定等の補

助についても、増額すべき

ではないか。

田端教育課長 その年度に

よって希望者が変わるた

め、特に今現在の29人が多

い少ないというのは答弁出

来ない。貸与額は、1万5

千円から3万5千円で、学

校の場所（島外、県外）や

種別（大学、短大、専門学

校など）でそれぞれ違う。

英検や漢検は全額補助金で

やっている。今の時点では

妥当な金額ではないかと思

っている。



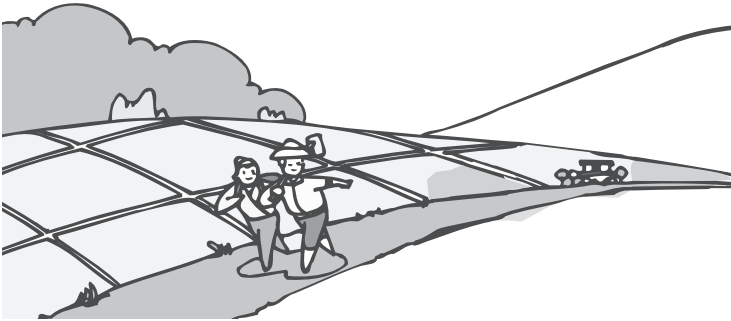
新しい農道計画を

費用対効果がなく厳しい

翁長議員 比屋定の新原に通じる道が東側と西側に2か所あり、西側は以前、宇江城の後原に抜けるように計画されていたと聞いています。その計画が中止になった経緯があるが、その道の新設が出来るか。

平良町長 同道路の法線の一部変更の原因を調べていますと、事業費の増額に伴い、費用対効果が出なくなり、やむなく現道の完成に至っている。

翁長議員 以前、計画された道が宇江城に通じれば、農業だけでなく、観光、そして養殖



翁長 学議員

場もあり、新たな道の模索はできないか。

盛本建設課長 確かに県の方は大変厳しいと話していたが、県の方と連絡を取りながら、当初計画の方針どおり整備できるように要請していきたいと思っています。

路線バス一周線の増便を

検討している



翁長議員 今の路線バスの本数では、住民サービスになつていないと思う。特に一周線で、増便をお願いしたい。

平良町長 運行ダイヤ面で増便が可能かどうか検討をしている。

翁長議員 一周線右回りは1日4本しか運行していない。それぞれの本数の運行ダイヤは妥当だと思つているのか。

平田商工観光課長 便がない時間帯もあり調整が必要

と。現在のバスの台数、運転手の人数と、他のダイヤも合わせて、どこに組み込みが可能なのか、そして地域の人の意見も聞きながら検討していきたいと思う。

翁長議員 車輛の購入事業として上げられたのが、公共交通のサービス維持強化を図るためにバスを買い換えたといつているので、ぜひ、住民サービスになるように、検討ではなく増便を求める。

西奥武島の入り口集落道路の整備について

基本的にはやる方向で進めていく

備されているが、生活道路等に段差が生じ、その状態が悪く老人の方々は通行に苦慮されていると聞いている。西奥武島の住民の安全を確保する面から、早急な整備が必要と考えるが、町長の見解を伺いたい。

平良町長 西奥



安村議員 西奥武の住民からの要望があり、道路整備について伺いたい。西奥武島の子どもたちや老人の方々の生活道路として使用されている道路のつくりが、大変危険だと危惧している。護岸は立派に整備されているが、



安村達明 議員

武島入り口集落道路について、以前に補助事業での整備に向けて、県と調整を図りましたが、事業採択の要件を満たすことが出来ず断念しましたが、非常に悪い道路と思っている。今後は、町の単独予算で整備できないかどうか検討をし、前向きにやっつけていきたい。

西奥武島の船揚場の水路について

試験的に一部しゅんせつを実施したい

平良町長 西奥武島の船揚場の水路については漁業整備ではなく、海岸事業の補修工事で行った施設。そのため県においても漁業関連の予算では航路しゅんせつはできないということである。今後、町の予算で試験的に一部しゅんせつを実施してみたいと思う。

饒平名議員 しゅんせつを実施する答弁をもらい安心はしているが、潮の流れが変わっているので、今回水



おり、潮流が変わって砂が堆積しているのは町民、誰でも分かっている。そこで生活している人たちが困らないように、単独予算でしゅんせつをしてその間に事業が導入できないか考えていきたい。



饒平名 智弘 議員

路をしゅんせつしても将来的にまた埋まると思う。平良町長 この船揚場は以前から問題になって

白瀬川の観光資源として活用しては？

島の学校と連携し取り組んでいく

平良議員 マン

く。 取り組んでい の学校と連携し 要と思うので島 験への活用は必 ツーリズムの体 ないが、エコ 域の整備計画は 平良町長 当地 伺いたい。



平良議員 白瀬川河口の断崖には伊敷索グスクがあり、白瀬走川節の石碑の建立、遊歩道、公園、展望台等々がある。歴史文化の名所でありながら、人気が少ないので新たな観光資源として活用できないか

湾課の話聞いて植栽可能であればマングローブの苗が確保できしだい3月頃関係ボランティア等と調整して植栽を進めて行きたいと考えている。



平良義徳議員

グローブ植栽に 関してはどうか。 佐久田環境保 課長 県管理に なっているの で 県の河川課、港

一般質問通告一覧表

上里総功議員

- 一、鳥島射撃場の賃貸借契約予約について
- 一、町道整備について

崎村正明議員

- 一、町道・農道の道路認定について

仲村昌慧議員

- 一、綱引きの復活について
- 一、職員採用について
- 一、臨時教員について

幸地良雄議員

- 一、成壮年の組織育成しては

宮里洋一議員

- 一、久米島空港区域内での駐停車について

宮田勇議員

- 一、海洋深層水の利活用の拡大について

宇江原総清議員

- 一、鳥島射撃場の早期返還と海洋エネルギー研究センターの誘致について
- 一、コンクリート護岸の撤廃とこれに伴う、潮害防備保安林等の植栽について(河川を含む)
- 一、久米島町の人材育成について
- 一、保育所運営経費等について

翁長学議員

- 一、新しい農道の計画を
- 一、路線バス、一周線の増便を

安村達明議員

- 一、西奥武島の入り口集落道路について

饒平名智弘議員

- 一、西奥武島の船揚場の水路について

平良義徳議員

- 一、白瀬川・旧大港橋河口付近の整備について

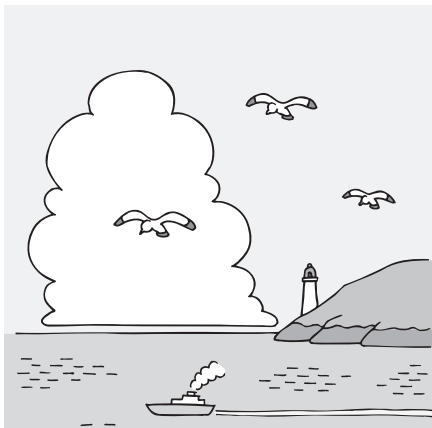
喜久里猛議員

- 一、発砲スチロールの処理について
- 一、兼城港の改修について

発泡スチロールの処理について

移動式の油化装置の導入を要望している

喜久里議員 各離島の周辺は発泡スチロールが一番目に付く漂流物で、その対処に四苦八苦し



喜久里議員 海岸に流れ着いている発泡スチロールが多く見られるが、その処理について移動式の装置を利用する考えはないか。

平良町長 来年1月から3月にかけて八重山の各島々の海開きや環境教育において移動式の油化装置のイベントが行われる。その時に、久米島でも実施して欲しいと要望している。



喜久里 猛 議員

ている中で、鳩間島が実施している。ぜひ久米島で実現して欲しい。

佐久田環境保全課長 鳩間島で行われたのは、日本海難防止協会が2か年の社会実証の事業であり、久米島に誘致するには幾つかの問題をクリアする必要があるの中で、日本海難防止協会の予算で出来ないか再度調整する方向で考えている。

兼城港の改修について

県の最優先事業として国へ要望している

喜久里議員 先般、下地代議士ほか数名が来島し、兼城港、新興通り、中央通り、儀間地先を視察したが、兼城港についてどのような進展があったか。

平良町長 県に確認したところ、現在国に対して次年度の補助金要求している段階なので、事業採択の有無についての回答はまだだが、兼城港の整備を県の最優先事業として要望しているとのことである。

喜久里議員 次年度以降の予算要求は、調査費だけなのか。また、とりあえずフェリーを移動できないのか。

盛本建設課長 詳しい話は聞いていないが、23



年度と24年度に関しては調査と設計、工事に関しては25年度からというスケジュールで動いているとのことである。

平良町長 まずは船を移動させるということを最優先にしてまいりたい。

臨時会(11月)・定例会(12月)で決まったこと

平成22年11月29日「第7回臨時会」、12月16日～17日の2日間に向け「第8回定例会」が開催された。議決結果は下記のとおり。

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第5号	専決処分【平成22年度久米島町一般会計補正予算(第4号)】について	平成22年11月29日	承認
発議第9号	尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する意見書	平成22年11月29日	採択
議案第47号	平成22年度久米島町一般会計補正予算(第5号)	平成22年12月17日	可決
議案第48号	平成22年度久米島町水道事業会計補正予算(第1号)	平成22年12月17日	可決
議案第49号	土地の処分	平成22年12月17日	可決
議案第50号	久米島町下水道条例の一部を改正する条例	平成22年12月17日	可決
議案第51号	久米島町税条例の一部を改正する条例	平成22年12月17日	可決
議案第52号	久米島町営住宅条例の一部を改正する条例	平成22年12月17日	可決
議案第53号	久米島町奨学金貸付基金条例	平成22年12月17日	可決
議案第54号	土地の処分	平成22年12月17日	可決
発議第10号	T P P 交渉への参加反対に関する意見書	平成22年12月17日	採択

視察

研修

海洋深層水の新たな利用を!

視察研修 11月25日(木)、久米島町議会議員13人は佐賀大学海洋エネルギーセンターと野菜直売所「マツちゃん」を視察した。

午前10時より佐賀大学海洋エネルギーセンターを視察。同センターや海洋エネルギーがもつ特性などの説明を受け、実験室を見学し、実験装置や模型等で温度差発電の仕組みを理解した。同センター職員の水田氏は質問に丁寧に答えながら、分かりやすく説明があった。

深層水研究所があり、現在、様々な研究が行われている。また、その深層水を利用した飲料水や塩、化粧品などの様々な製品の製造販売、車エビや海ブドウなどの養殖などが行われている。

入ることにより久米島の振興発展や島しょ型定炭素社会のモデル地区になると考えられ、議会としても一丸となって、実現のために取り組みたい。

おいしい野菜が産地直送

久米島には沖縄県海洋エネルギーセンターが導入し、日量10万トンの深層水をくみ上げた場合、1MWの電気を供給することができるとのこと。また、発電後の海洋深層水は純水海洋深層水の製造やリチウム回収、水素の生産の他、製品製造など多くの複合利用が可能である。

久米島町ではこのような温度差発電複合利用について検討を初めている。海洋温度差発電を導入

午後は、野菜直売所「マツちゃん」を見学。種類豊富で新鮮な野菜や物産などの販売ゾーン、美味しい食材を使った料理が堪能できる飲食ゾーンがあり、多くの人でにぎわっていた。



最初は小さな直売所だった所が、今では年商数億円にまで成長。販売側もお客さんも活気にあふれており、成功の要因が垣間見えた。

議会傍聴のご案内

次回の定例会は、3月9日～24日の予定です。傍聴ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。議会へのご意見、ご要望なども併せて承っております。

久米島町議会事務局 (098) 985-7128